

あなたがいてくれて、
母さんは幸せだよ



©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

梅切らぬバカ

2022年6月19日 日 取手ウェルネスプラザ〈多目的ホール〉

【上映時間 77分】
※各回30分前開場

①10:00 ②13:00 ③15:30

入場料 1,000円(税込) ※各回先着150名

- 申込方法：取手ウェルネスプラザへ電話にてお申込み下さい。
- 新型コロナウイルス感染症予防のため、隣り合わせの席をご希望の場合でも、1席ずつ間隔をあけてのご鑑賞となりますので、あらかじめご了承下さい。

●チケット申込・お問合せ 取手ウェルネスプラザ ☎0297-71-2122 (受付時間 9:00~21:00)

【新型コロナウイルス感染症予防に関するご案内】

◆マスク等の着用をお願いいたします。◆チケット裏面に氏名・電話番号を必ずご記入の上、入場時にご提出下さい。◆ご入場の前に非接触型体温計で検温させていただきます。◆37.5℃以上のお客様は入場をご遠慮いただく場合がございます。ご来場の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

忠さん

几帳面で、馬好き

ちよつぱり辛口の占い師

珠子さん



一緒に笑って、たまに怒って涙して。
このありふれた毎日が宝物。

都会の古民家で寄り添って暮らす母と息子。ささやかな毎日を送っていたが、息子が50回目の誕生日を迎えた時に母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね？」母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描く本作。包容力あふれる母親を演じるのは、54年ぶりに主演を務める加賀まりこ。軽口を叩きながらも、小柄な身体で大きな息子の世話をする姿はとてとてもチャーミング。だからこそ、やがて訪れる“息子が1人で生きる未来”を案ずる横顔が、より一層切ない。息子役にはNHK連続テレビ小説「おちよらん」など俳優としても活躍中の塚地武雅(ドラクドラゴン)。地域コミュニティとの不和や偏見といった問題を取り入れながらも、親子の絆と深い愛を描き、あたたかな感動をもたらす。

いやアアア明日はやらアアア
この親子の日常は続く。
どうか見守って下さい。
加賀まりこ

父親代わりの梅の木が運んでくれた“小さな奇跡”とは…?

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまふ。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが…。



ことわざ「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」とは？

樹木の剪定には、それぞれの木の特性に従って対処する必要があるという戒め。転じて、人との関わりにおいても、相手の性格や特徴を理解しようと向き合うことが大事であることを指す。

加賀まりこ 塚地武雅
渡辺いっけい 森口瑠子 森藤祐真
徳井優 広瀬由里子 北山隆康 真魚 木下あかり 頼川忍
永嶋修善 大地泰仁 渡辺順 三浦景虎 吉田久美 辻本みづ希
林家正蔵 高島礼子

監督・脚本：相島秀太郎
製作代表・原案・監修：ユダビタケイ・プロデューサー：市井三衛 横田寿史 小西悠介 プロデューサー：市岡英行 風津麗 安島孝 空澤宏
共同プロデューサー：橋本雄介 音道：石川小波ミチ 撮影：松村嘉宏 照明：山田正人 録音：葛原正隆 編集：形本博史 美術：藤井浩
監録：土橋みずほ 音楽：高橋洋文 音楽プロデューサー：木村孝 衣裳：高橋あさひ メイクアップアーティスト：武蔵力也
メイクアップ：河山大輔 調理主任：大友輝子 ラインプロデューサー：若田尚
配給・宣伝：パピレット・フロント・スタジオ 文化庁芸術事業「文化庁芸術家育成プロジェクト」助成 長編映画の東京テレビ放送
©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト 2021/日本/77分/5.1ch./ビスタ/カラー

【公式サイト】 <https://happinet-phantom.com/umekiranubaka/> 【公式ツイッター】 @umekiranubaka

大きな梅の木に見守られ、母と息子は今日も生きる。ゆっくりと、丁寧に。
人と人がつながり、共に生きることの喜びを描く。